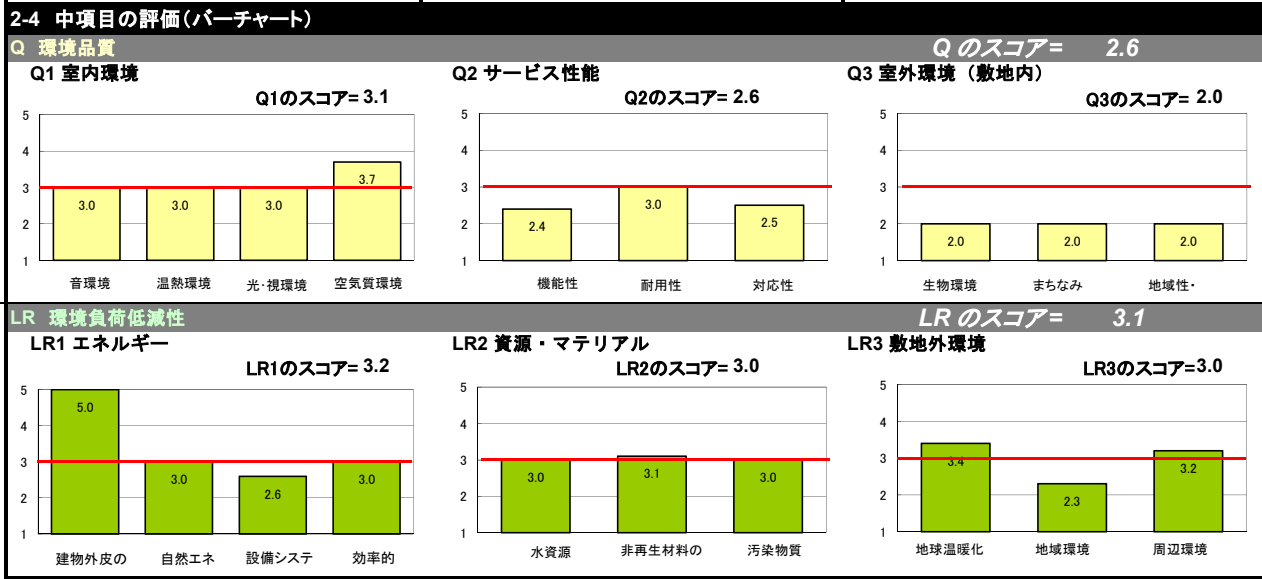
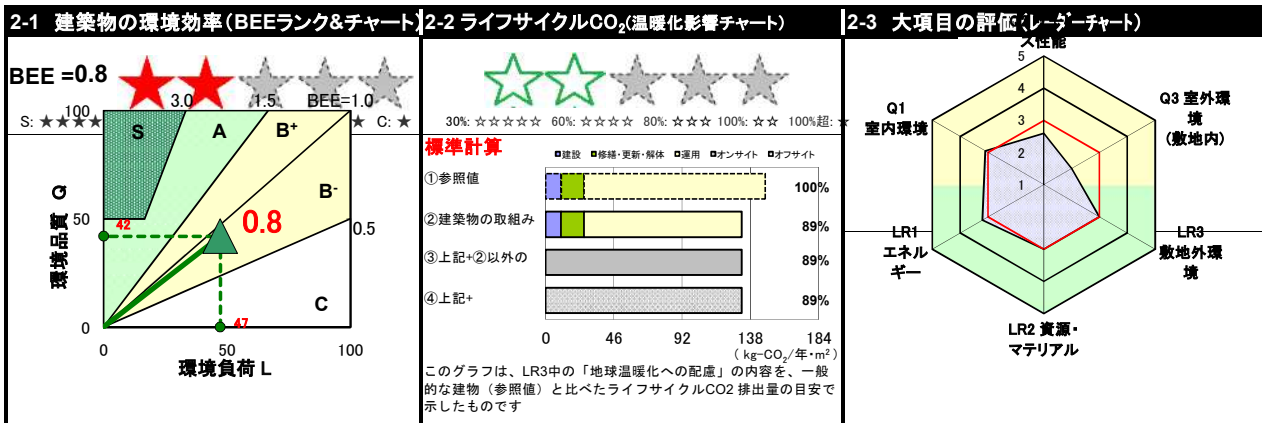
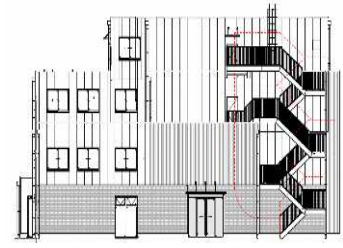


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市中央区淵野辺四丁目計画新築工事	階数	地上4F
建設地	相模原市中央区淵野辺四丁目928番3、928番5、928番8	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	65人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年11月17日
敷地面積	1,135㎡	作成者	大和ハウス工業㈱厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	742㎡	確認日	2021年11月18日
延床面積	2,403㎡	確認者	大和ハウス工業㈱厚木支社建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 横浜線淵野辺駅から徒歩10分の第二種住居地域に、病院単一用途のS造・4Fの建物を計画した。		その他 なし
Q1 室内環境 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	Q2 サービス性能 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	Q3 室外環境 (敷地内) なし
LR1 エネルギー BPI=0.78	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のデテイルを採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=89% 光害チェックリストの過半を満たしかつ広告物照明無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される